

Syllabus Id	syl-052071
Subject Id	sub-0520013
作成年月日	50114
授業科目名	文学特論
担当教員名	諏訪 睦生
対象クラス	電気電子工学科4年生・物質工学科四年生
単位数	2高専単位
必修/選択	必修
開講時期	通年
授業区分	一般教養科目系
授業形態	講義および討論
実施場所	電子制御工学科棟3F E4HR・物質工学科棟2F C4HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

具体的かつ普遍的な文学作品に直接触れることによって、「文学とは何か」、また「文学の役割とは」等の問題を検討する。実際には夏目漱石の前期三部作の「三四郎」および後期三部作の「こころ」を読んで、それぞれ自己の考えをまとめて文章を書く。またそれらについて討論して、さらに考察を深める。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

主要教科目でない場合には形式自由

学習・教育目標	Weight	目標
		A
		B
		C
	@	D
	o	E

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

主要教科目でない場合には形式自由

- 1 近代小説を読んで、文学および文学的な知識を得る。
- 2 ものの見方・考え方をいっそう深く豊かにする。
- 3 ことばに関する知識・感性を磨き、自己表現の方法を鍛錬する。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ
第1回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明
第2回	文学の読解鑑賞	「三四郎」(一)を読んで、その鑑賞・批評を文章に書く。
第3回		(二)
第4回		(三)
第5回		(四) 上記(三まで)についての討論
第6回		(五)
第7回		(六)
第8回		(七)
第9回		(八) 上記(七まで)についての討論
第10回		(九)
第11回		(十)
第12回		(十一) 上記(十まで)についての討論

第13回		(十二)
第14回		(十三) 全編のもつめ・討論
第15回	前期期末試験	
第16回	後期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明
第17回	文学の読解・鑑賞	「こころ 上 先生と私」の読解と鑑賞(一)
第18回		(二)
第19回		(三)
第20回		(四) 以上のまとめと討論
第21回		「こころ 中 両親と私」の読解と鑑賞(一)
第22回		(二)
第23回		(三)
第24回		(四) 以上のまとめと討論
第25回		「こころ 下 先生と遺書」の読解と鑑賞(一)
第26回		(二)
第27回		(三)
第28回		(四) 以上のまとめと討論
第29回		「こころ」前編についてのまとめと討論
第30回	後期末試験	

課題

評価基準 必要に応じて随時レポートを科す。

提出期限 原則として課題提示の次の授業時

提出場所 授業実施の教室ならびに非常勤講師室

オフィス・アワー 出勤日(毎週火・水・金の昼休み時間)

評価方法と基準

評価方法: 主要教科目でない場合には形式自由

(1)述べられている内容を正確に把握できたか否か。(2)自己の考えを的確に表現できるか否か。(3)文学・ことばについての知識や感性が養われたか否か。

目標毎に以下のように記述する

(1)表記中の単語や語句の意味内容を、辞書を調べ、注記事項を参考し理解しようとする態度が見られるか。

(2)原稿用紙を用い、文字表記のきまりに従って表記し、自己の考えを正確に表現できたか。

(3)文学や近代小説についての知識・理解または関心等が得られたか。(4)レポートの作成に積極的かつ真剣に取り組んだか。他の受講学生との質疑応答を通じて、自己の理解が適切か自らに問い、自己評価させる。

(4)その結果を成績の10%に反映させる。

評価基準:

前期試験 35% 後期試験 35% レポート 30%

教科書等	角川文庫版「三四郎」・「こころ」 夏目漱石著 角川書店
先修科目	前年度まで履修した国語関連教科目
関連サイトのURL	一つのみ記入。教科関連のURL。専門工学の場合は関連する学・協会のHP等を推奨します。
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。

